

NAGATO

長門の出来事

news

9

ほっちゃんテレビ開局

長門市ケーブルテレビ局「ほっちゃんテレビ」が4月1日から本放送を開始し、2日、東深川上郷のケーブルテレビ放送センターで開局式が行われました。

式には、総務省中国通信局の江崎正邦局長をはじめ県や市関係者など約70人が出席。「ほっちゃんテレビ」の名付け親で日置農業高校1年の奥谷智美さん（江良区）と村田哲雄県議、松林市長の3人がモニターテレビのスイッチを入れて開局を祝い、松林市長が「公設公営のテレビ局として自主放送番組を重視、充実させ、情報の共有により行政



生中継された松林市長と中学生による開局記念対談の様子
(左から本田さん、山下さん、福田さん、上田さん、松林市長)



モニターテレビのスイッチを押す3人
(左から奥谷さん、松林市長、村田県議)

と地域、地域と人、人と人を強く結び、豊かなまちづくりを進めていきたい」とあいさつしました。

この後、市内の中学3年生4人と松林市長による開局記念対談が行われ、山下瞳さん（通中）、福田龍さん（仙崎中）、上田沙智子さん（深川中）、本田光樹さん（俵山中）がCATVに期待する事などを語り合いました。式典を含めこの模様は自主放送チャンネルで生中継されました。

この施設は国の新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業により整備したもので、総事業費は約11億8千万円、伝送路の総延長は274kmで、市内全域で受信が可能で、開局時の加入率は約60%で、市内約9000世帯のうち約5500世帯が加入しています。

長門豊川稲荷「桜まつり人形供養」 思い出の人形に感謝と別れ

4月1日、湯本の大寧寺境内にある長門豊川稲荷の人形堂で同稲荷奉賛会が主催した「桜まつり人形供養」がありました。

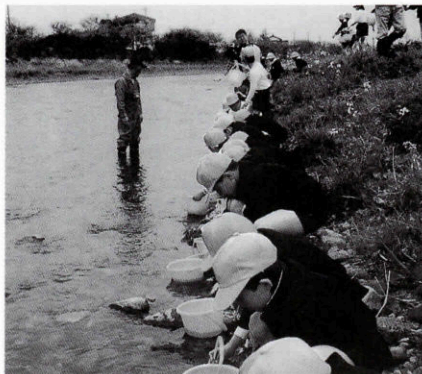
供養には約30人が集まり、持ち寄った人形をお堂に供え焼香し、各自それぞれ自分の人形への思いを書き込んだ経木札を燃やして別れを告げました。



稚アユ4万匹を放流

4月14日、深川川漁業協同組合では、組合員が体長約7〜8cmに育った稚アユ約4万匹を深川川に放流しました。

長寿橋下の河川公園では深川小学校の4年生106人も参加し、バケツに入った稚アユを慣れない手つきで放していました。



県立水産高校小型実習船 「すいこう」竣工

水産高校の新しい小型実習船「すいこう」の竣工式が4月16日、仙崎漁協南の岸壁で行われ、全校生徒183人をはじめ関係者など約50人が出席しました。

「すいこう」は全長19・9m、19トンで、新教育課程に対応した多目的な使用が可能です。

